

2026年1月8日（木）
三学期 始業式 校長式辞

明けましておめでとうございます。

二学期の終業式で、私は皆さんに、

「ぜひ、新しいことを一つ、自分の人生にまぶしてみてください」という話をしました。
前向きな挑戦をしてほしい。そんな思いを伝えましたが、いかがだったでしょうか。

さて、今年の干支は「午年」です。午は、行動力や勇気、そして成長や前進の象徴であり、私たちに前へ進む力を与えてくれる干支だとされています。

まさに、「前進」と「行動力」。その姿から、午年は「常に前へ進む年」とも言われます。

二学期終業式でお話しした「新しい挑戦」とも重なり、今年はまさに、チャレンジを始めるのにふさわしい一年だと言えるでしょう。

ただ、走り出す前には、一旦立ち止まり、進む方向を確かめることも大切です。

「正月」の「正」という字は、「一」旦「止」まる、と書きます。新しい年のはじめは、走り出すためにこそ、立ち止まる時間もあります。進む方向が定まってこそ、人は長く、そして強く走り続けることができます。

一人ひとりの内にある熱量も、向かう先が定まってこそ、本当の推進力になります。

そして、チームで何かを成し遂げようとするときは、その熱量がそろったときにこそ、大きな力を発揮します。

午年、まずはチャレンジです。

挑戦（チャレンジ）が、変化（チェンジ）を生み、やがて、新たな機会（チャンス）をひらいていきます。
方向を定め、小さな一歩であっても、勇気をもって踏み出した人が、自分を変え、未来を切りひらいていきます。

一年のはじまりという節目を、自分自身にとって意味のある出発点にしてください。

ともに、新しい午年を歩んでいきましょう。

京都府立綾部高等学校 校長 一井 育